

グローバル・スタディーズ
研究科

国際関係論専攻

一般入試（博士前期）

(1) 出願前の事前連絡等

- ・入試説明会は6月上旬に実施予定。詳細は研究科 Web サイトに掲載。
- ・本学卒業(見込)者に対する筆記試験免除制度がある。希望者は出願期間開始前に筆記試験免除の認定を受ける必要があるため、9月入試は6月10日(木)、2月入試は10月21日(木)までに専攻事務室(2-907)に問い合わせること。その際に免除制度の出願書類についてもお知らせする。免除制度の出願書類については、9月入試は7月6日(火)、2月入試は11月19日(金)までに専攻事務室に提出すること。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ
説明書	全員	A4判・約4,000字。 ・これまで学んできたこと(2,000字) ・大学院での研究課題及びその説明(参考文献5点含む)(2,000字)
外国語検定試験(TOEFL、 TOEIC、IELTS、TEAPのい ずれか)の成績	全員	・出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・ TOEIC の場合、L&Rが必須。 ・英語を主たる教育言語とする大学の課程を修了した者は、外国語検定試験の成績の提出を免除する。免除希望者は、出身大学(大学院)から学部(大学院)の教育カリキュラムが英語で実施されている旨を証明した書類を提出のこと(学部長等、責任者の署名が必要)。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

本学卒業(見込)者が筆記試験の免除認定を受けた場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で「学内進学者免除」を選択すること。

(4) 試験日

9月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	
2月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	

(5) 試験内容

筆記試験	国際関係論	9:30～11:00	全4問中2問を選択。
口述試験		筆記試験終了後	

一般入試（博士後期）

(1) 出願前の事前連絡等

・入試説明会は6月上旬に実施予定。詳細は研究科 Web サイトに掲載。

◎事前連絡： 必須ではありません(次の場合を除く)。

・外国語試験において独、仏、西、露、葡、中国語以外の言語を希望する場合はあらかじめ専攻事務室に問い合わせること。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
進学目的説明書	全員	A4判・約1,000字。
意見書	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。出身大学・分野に関わらず、1通必要。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。
外国語検定試験(TOEFL、TOEIC、IELTS、TEAPのいずれか)の成績	全員	・出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・TOEICの場合、L&Rが必須。 ・英語を主たる教育言語とする大学の課程を修了した者は、外国語検定試験の成績の提出を免除する。免除希望者は、出身大学(大学院)から学部(大学院)の教育カリキュラムが英語で実施されている旨を証明した書類を提出のこと(学部長等、責任者の署名が必要)。
「日本語面接」免除に関する書類	該当者のみ	日本語能力試験(N1)合格済みの者は「日本語面接」を免除する。 ・出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

以下2点は、出願書類とは別に、2022年1月28日(金)までに専攻事務室に提出すること。郵送可(同日必着)。

郵送先：〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1 上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科国際関係論専攻事務室

※「大学院入試専攻別必要書類在中」と封筒表に明記の上、簡易書留で郵送

博士後期課程における研究 計画書	全員	A4判・約6,000字。
---------------------	----	--------------

修士論文の写し、またはその概要書	全員※	※本学国際関係論専攻博士前期修了見込者は不要 外国語で書かれた修士論文の場合、その修士論文の写し及び日本語または英語で書かれた概要書を提出のこと(概要書は約 8,000 字、英語は約 4,000 ワード)。
------------------	-----	--

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・専門科目の試験については、Web 出願システム入力画面の「選択科目」欄で選択する 2 科目を選択すること。
- ・外国語の試験については、Web 出願システム入力画面の「選択外国語 1」欄で選択する科目を選択すること。
- ・【日本語を母語としない者】は「選択外国語 1」欄で「日本語面接」を選択すること。

(4) 試験日

2 月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	2/17(木)

(5) 試験内容

筆記試験	専門科目 〈選択科目〉	9:30～11:00	国際関係論、国際関係史、国際比較論、国際経済論の中から、2 科目を <u>出願時に選択</u> 。答えは英語で書いてもよい。
	専門科目 〈選択科目〉	12:00～13:30	
	外国語 〈選択科目〉	13:50～14:50	<p>【日本語を母語とする者】</p> <p>独、仏、西、露、葡、中国語の中から 1 ヶ国語を<u>出願時に選択</u>。</p> <p>※上記以外の言語を希望する場合はあらかじめ専攻事務室に問い合わせること。</p> <p>※辞書(種類・冊数は自由。ただし電子辞書を除く)の使用を認める。</p> <p>【日本語を母語としない者】</p> <p>日本語の面接試験を課す。辞書使用不可。</p> <p>※日本語能力試験(N1)合格済みの者は日本語面接を免除する。日本語面接の免除については(2)出願に必要な書類の“「日本語面接」免除に関する書類”を参照すること。</p>
口述試験		口述試験日の 10:00～	

社会人入試 (博士前期)

(1) 出願前の事前連絡等

入試説明会は 6 月上旬に実施予定。詳細は研究科 Web サイトに掲載。

(2) 入試時期

9 月入試	博士前期課程
2 月入試	

- (3) 適用基準: 日本の大学を卒業した者もしくはそれに準ずる資格を有する者で、企業、団体、官庁などにおける実務経験が入学時点で通算 3 年以上あり、その実務経験が研究との関係で有用であると認められた者。

(4) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
外国語検定試験(TOEFL、 TOEIC、IELTS、TEAP のい ずれか)の成績	全員	・出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・ TOEIC の場合、L&Rが必須。 ・英語を主たる教育言語とする大学の課程を修了した者は、外国語検定試験の成績の提出を免除する。免除希望者は、出身大学(大学院)から学部(大学院)の教育カリキュラムが英語で実施されている旨を証明した書類を提出のこと(学部長等、責任者の署名が必要)。
社会人入試申請書	全員	所定用紙・本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載
研究計画書	全員	これまでの実務経験を踏まえ、入学後の研究計画について 4,000 字以内でまとめること。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(5) Web 出願システム登録時の注意点

Web 出願システム入力画面の受験枠で「社会人入試」を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。不許可の場合は一般入試枠の受験となる。

(6) 試験日

9月入試	口述試験	9/15(水)
2月入試	口述試験	2/16(水)

(7) 試験内容

口述試験	口述試験日	研究計画に関する質疑応答を中心とした面接を行う。 実施時間については、事前に専攻事務室より連絡する。
------	-------	---

留学生入試 (博士前期)

(1) 出願前の事前連絡等

入試説明会は 6 月上旬に実施予定。詳細は研究科 Web サイトに掲載。

(2) 入試時期

9 月入試	博士前期課程
2 月入試	

※2 月入試は、国内出願のみ受け付けるため注意すること。詳細は、入試要項(共通)p.4 を参照。

(3) 出願資格：大学院入試出願資格を有する者で、日本語を母語としない者。

(4) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
推薦者 2 名による推薦状 各 1 通	全員	書式自由・英文または和文。 出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「推薦状在中」と記載すること。
説明書	全員	A4 判・約 4,000 字。 ・これまで学んできたこと(2,000 字) ・大学院での研究課題及びその説明(参考文献 5 点含む)(2,000 字)
日本語能力試験の「認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」	全員	受験した級および合否は問わない。原本、または、その写しに出身学校や本学入学センターで原本証明を受けたものを提出する。 ・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・日本語を主たる教育言語とする大学の課程を卒業した者は日本語能力試験の証明書の提出を免除する。提出免除希望者は、出願書類チェックリストにその旨を記入すること。
外国語検定試験(TOEFL、TOEIC、IELTS、TEAP のいずれか)の成績	全員	・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・ TOEIC は L&R が必須。 ・英語を主たる教育言語とする大学の課程を修了した者は、外国語検定試験の成績の提出を免除する。免除希望者は、出身大学(大学院)から学部(大学院)の教育カリキュラムが英語で実施されている旨を証明した書類を提出のこと(学部長等、責任者の署名が必要)。
その他言語の検定試験の成績	任意	

在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(5) Web 出願システム登録時の注意点

Web 出願システム入力画面の受験枠は「留学生入試」を選択すること。

(6) 試験日

9月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	
2月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	

(7) 試験内容

筆記試験	国際関係論	9:30~11:00	全4問中1問を選択。
口述試験		筆記試験終了後	

グローバル・スタディーズ 研究科	地域研究専攻
---------------------	--------

◎博士前期課程の入試について：9月入試と2月入試で、出願書類や試験内容が異なるので十分に注意すること。

一般入試（博士前期） — 9月入試

(1) 出願前の事前連絡等

- ・入試説明会は6月及び11月に実施予定。詳細は決まり次第、本学 Web サイトに掲載。
- ・外国語の試験において、選択する言語について疑問がある場合には地域研究専攻主任に問い合わせること(電子メール: dirareas@sophia.ac.jp)。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
研究計画書	全員	手書き不可。 ・最初のページに氏名、電子メールアドレス、研究題目を明記すること。 ・日本語の場合、2,000 字以上 4,000 字以内。英語の場合、850 ワード以上 1,700 ワード以内。 ・参考文献を5つ以上あげ、必要に応じて注をつけること。 ・ ハードコピー(印刷したもの)と電子データ(USB メモリもしくは CD-ROM)の両方で提出すること。 電子データは返却しない。
外国語(英語)試験免除申請に関する書類	該当者のみ	以下1、2のいずれかの証明書を提出した場合は、外国語(英語)試験を免除する。 1. 大学・大学院において、英語を教授言語とする正規課程を修了したことを証明する書類 2. TOEFL iBT 95 点以上、TEAP 350 点以上、IELTS 6.5 以上、英検1級、国連英検A級以上のスコア 出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
「日本語能力審査のための面接」免除に関する書類	該当者のみ	以下1、2のいずれかの証明書を提出した場合は、「日本語能力審査のための面接」を免除する。 1. 大学・大学院において、日本語を主な教授言語とする正規課程を修了したことを証明する書類。 2. 日本語能力試験(N1)の「認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」 出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。

出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。
-------------	----	--

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・外国語の試験については、Web 出願システム入力画面の「選択外国語 1」欄で選択する科目を選択すること。
- ・(2) 出願に必要な書類の“外国語(英語)試験免除申請に関する書類”により英語の試験免除を申請する場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で“外国語試験免除”を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。
- ・「日本語能力審査のための面接」対象者は、Web 出願システム入力画面の「選択外国語 2」欄で、「日本語面接」を選択すること。

(4) 試験日

9 月入試	筆記試験	9/15(水)
	日本語能力審査のための面接	
	口述試験	

(5) 試験内容

筆記試験	外国語 <選択科目>	9:30~10:30	英、独、仏、西、露、葡、カンボジア、ビルマ、インドネシア、マレー、ヒンディ、アラビア、ペルシア、トルコ、ネパール語のうちから、志願者の研究に必要な 1ヶ国語を <u>出願時に選択</u> 。辞書持込可(ただし電子辞書を除く)。選択する言語について疑問がある場合には、地域研究専攻主任に問い合わせること(電子メール: dirareas@sophia.ac.jp)。 ※英語を選択する場合には試験の免除制度がある(上記(2)出願に必要な書類の“外国語(英語)試験免除申請に関する書類”参照)。
日本語能力審査のための面接		10:50~12:20	日本語を母語としない者には、日本語面接を課す。 ※日本語面接の試験免除については(2)出願に必要な書類の“日本語能力審査のための面接”免除に関する書類”を参照すること。
口述試験		13:30~ ※ただし、事情により外国語試験の翌日以降に行う場合は、通知する。	研究に必要な外国語に関する能力について確認を行うとともに、提出された研究計画書に関する質疑応答を中心に 1名 45分程度行う。冒頭で、研究計画書の内容について 10分以内で口頭報告を求める。口頭報告の際はレジュメ、ポスターを使用してもよい。配付資料を使用する場合は、各自で 10部用意し会場に持参すること。液晶プロジェクターやスクリーン等の機材は使用できない。

一般入試 (博士前期) — 2 月入試

(1) 出願前の事前連絡等

- ・入試説明会は 6 月及び 11 月に実施予定。詳細は決まり次第、本学 Web サイトに掲載。
- ・外国語の試験において、選択する言語について疑問がある場合には地域研究専攻主任に問い合わせること(電子メール: dirareas@sophia.ac.jp)。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。

最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者 のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者 のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
博士前期課程で研究したい テーマ、及び研究テーマの 説明書	全員	<p>研究したいテーマ: 日本語の場合 40 字以内、英語の場合 20 ワード以内 研究テーマの説明書: 日本語の場合 4,000 字、英語の場合 1,700 ワード以内 ※説明書の中で、以下の 3 項目を個別に指定字数以内で示すこと。最初のページに氏名と電子メールアドレスを記すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んできたこと(日本語の場合 1,000 字、英語の場合 425 ワード以内) ・博士前期課程修了後の進路の希望も含めた大学院志望の動機(日本語の場合 1,000 字、英語の場合 425 ワード以内) ・大学院での研究課題及びその説明(日本語の場合 2,000 字、英語の場合 850 ワード以内) <p>※テーマ及び説明書は、ハードコピー(印刷したもの)と電子データ(USB メモリもしくは CD-ROM)の両方で提出すること。電子データは返却しない。</p>
1) 特定の課題についての 論文 または 2) 地域研究に関する卒業 論文	全員	<p>1) 特定の課題についての論文(日本語または英語) 出願開始約 2 ヶ月前に、以下の方法で 2 つの論文課題(社会科学系、人文科学系各 1)を開示する。2 つの課題のうち、いずれか 1 つを選び、以下の執筆要領にもとづいて論文を作成し提出する。</p> <p>※ 論文課題の開示方法 本学 Web サイト及び、地域研究専攻 Web サイト (http://dept.sophia.ac.jp/g/gs/areastudies/) 上で開示する。</p> <p>※ 課題論文執筆要領</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した課題の記号を論文冒頭に記すこと。 ・その分野の重要な文献を 5 つ以上あげ、それらを参照しつつ論じること。 ・論文題目をつけ、注、引用文献目録を付すこと。 ・日本語の場合 8,000 字以上 12,000 字以内。英語の場合 3,400 ワード以上 5,000 ワード以内。 ・A4 判横書。日本語の場合 1 頁 40 字×30 行。英語の場合 1 頁 25 行。片面印刷。 <p>2) 地域研究に関する卒業論文(日本語または英語) 出願時から起算して 3 年以内に、東南アジア、南アジア、中東、ラテンアメリカ、アフリカ、ヨーロッパの地域研究に関する卒業論文を提出した者は、1) の代わりに提出できる。同様の卒業論文を 2021 年度中に提出予定の者は、提出予定の卒業論文の確定稿の写しを提出することができる。</p> <p>※1)および2)は、ハードコピー(印刷したもの)と電子データ(USB メモリもしくは CD-ROM)の両方で提出すること。電子データは返却しない。</p>
外国語(英語)試験免除申請に関する書類	該当者 のみ	<p>以下 1、2 のいずれかの証明書を提出した場合は、外国語(英語)試験を免除する。</p> <p>1. 大学・大学院において、英語を教授言語とする正規課程を修了したことを証明する書類</p>

		2. TOEFL iBT 95 点以上、TEAP 350 点以上、IELTS 6.5 以上、英検 1 級、国連英検 A 級以上のスコア 出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
「日本語能力審査のための面接」免除に関する書類	該当者のみ	以下 1、2 のいずれかの証明書を提出した場合は、「日本語能力審査のための面接」を免除する。 1. 大学・大学院において、日本語を主な教授言語とする正規課程を修了したことを証明する書類。 2. 日本語能力試験(N1)の「認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」 出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・外国語の試験については、Web 出願システム入力画面の「選択外国語 1」欄で選択する科目を選択すること。
- ・(2) 出願に必要な書類の“外国語(英語)試験免除申請に関する書類”により英語の試験免除を申請する場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で“外国語試験免除”を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。
- ・「日本語能力審査のための面接」対象者は、Web 出願システム入力画面の「選択外国語 2」欄で、「日本語面接」を選択すること。

(4) 試験日

2 月入試	日本語能力審査のための面接	2/16(水)
	口述試験	

(5) 試験内容

筆記試験	外国語 〈選択科目〉	9:30~10:30	英、独、仏、西、露、葡、カンボジア、ビルマ、インドネシア、マレー、ヒンディ、アラビア、ペルシア、トルコ、ネパール語のうちから、志願者の研究に必要な1ヶ国語を <u>出願時に選択</u> 。辞書持込可(ただし電子辞書を除く)。選択する言語について疑問がある場合には、地域研究専攻主任に問い合わせること(電子メール: dirareas@sophia.ac.jp)。 <u>※英語を選択する場合には試験の免除制度がある(上記(2)出願に必要な書類の“外国語(英語)試験免除申請に関する書類”参照)。</u>
日本語能力審査のための面接		10:50~12:20	日本語を母語としない者には、日本語面接を課す。 ※日本語面接の試験免除については(2)出願に必要な書類の“日本語能力審査のための面接”免除に関する書類”を参照すること。
口述試験		13:30~	研究に必要な外国語に関する能力について確認を行うとともに、提出された課題論文の内容と研究テーマの説明書に関する質疑応答を中心に 1 名 25 分程度行う。冒頭で、課題論文の内容について10分以内で口頭報告を求める。口頭報告の

		際はレジュメ、ポスターを使用してもよい。配付資料を使用する場合は、各自で 10 部用意し会場に持参すること。液晶プロジェクターやスクリーン等の機材は使用できない。
--	--	---

一般入試（博士後期）

(1) 出願前の事前連絡等

・志願者は、2021 年 10 月 29 日(金)までに、指導を希望する教員または専攻主任に連絡をとり、研究テーマが本専攻にふさわしいか否か、受け入れ可能な教員がいるか否かについて相談すること。連絡方法は以下のとおり。

1) 本専攻博士前期課程在学学生は授業期間中に連絡をとる。

2) 上記以外の志願者は以下のいずれかの方法で連絡をとる。

・指導を希望する教員に適当な方法で直接連絡をとる。

・「地域研究専攻博士後期課程出願相談」と件名を明記し、電子メールで専攻主任に連絡をとる。ただし、大学の休業期間中(本学 Web サイト参照)は対応できないので、この時期を避けて連絡すること。

専攻主任連絡先: 電子メール: dirareas@sophia.ac.jp

・グローバル・スタディーズ研究科入試説明会に出席し、指導を希望する教員とのアポイントメントをとる。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
「日本語能力審査のための面接」免除に関する書類	該当者のみ	以下 1、2 のいずれかの証明書を提出した場合は、「日本語能力審査のための面接」を免除する。 1. 大学・大学院において、日本語を主な教授言語とする正規課程を修了したことを証明する書類。 2. 日本語能力試験(N1)の「認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」 出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

以下 3 点は**ハードコピー(印刷したもの)**と**電子データ(USB メモリもしくは CD-ROM)**の両方を提出すること。電子データについては**返却しない**。また、**出願書類とは別に、2022 年 1 月 26 日(水)までに専攻事務室に郵送すること(同日必着)**。

郵送先: 〒102-8554 千代田区紀尾井町 7-1 上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻事務室

※「大学院入試専攻別必要書類在中」と封筒表に明記の上、簡易書留で郵送

研究計画書	全員	日本語もしくは英語とし、日本語の場合 8,000 字、英語の場合 3,400 ワード以内。 研究課題、その内容と意義、研究方法、史資料及び先行研究についての主要文献リストをまとめる。最初のページに氏名と電子メールアドレスを記すこと。
-------	----	---

修士論文またはそれに相当する論文の写し	全員	
上記論文の概要書	全員	日本語もしくは英語とし、日本語の場合 2,000 字、英語の場合 850 ワード以内。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

「日本語能力審査のための面接」対象者は、Web 出願システム入力画面の「選択外国語 2」欄で、「日本語面接」を選択すること。

(4) 試験日

2 月入試	日本語能力審査のための面接	2/16(水)
	口述試験	

(5) 試験内容

日本語能力審査のための面接	10:50~12:20	日本語を母語としない者には、日本語面接を課す。 ※日本語面接の試験免除については(2)出願に必要な書類の“「日本語能力審査のための面接」免除に関する書類”を参照すること。
口述試験	13:30~	修士論文と研究計画に関する質疑応答を中心に行う。

グローバル・スタディーズ
研究科

国際協力学専攻

◎英語による修学について：国際協力学専攻修士課程では、英語による修学志望者の募集も行う。

一般入試（修士）

(1)入試説明会・出願前の事前連絡等

- ・入試説明会は6月及び11月に実施予定。詳細は本学 Web サイトに掲載。
- ・長期履修制度(詳細は後述)に申請する者は、Web 出願開始日までに申請書を入学センターに提出すること。

(2)出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
研究計画書(説明書)	全員	次の内容を日本語または英語で記述してください(言語の選択は任意)。 ・これまでに大学や社会で学んできたこと(日本語 2,000 字/英語 1,000 words) ・大学院での研究課題としたい内容及びその説明(参考文献 5 点含む) (日本語 5,000 字/英語 2,500 words) ・今後のキャリアについて(日本語 1,000 字/英語 1,000 words)
Essay Writing	全員	出願後、「平和協力・平和構築」、「持続可能な開発」、「社会・教育開発」の3つの分野から設問を用意します。そのうち1つを選んで回答すること(日本語 2,000~4,000 字/英語 1,000~2,000 words)。 ※出願書類確認後に、別途メールで作成指示を行います。 ※Essay 作成のための期間は約 2 週間です。
英語の能力の証明書類	全員	<日本語による修学志望者> TOEFL、TOEIC、IELTS、国連英検のいずれかのスコア ・出願期間より遡って 6 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・TOEIC は L&R と S&W が必須。 ・英語を主たる教育言語とする大学の課程を修了した者については、証明書類の提出を免除する。免除希望者は、出身大学(大学院)の教育カリキュラムが英語で実施されている旨を証明する書類を提出すること(学部長等、責任者の署名が必要)。 <英語による修学志望者> TOEFL iBT 85 点以上 TOEIC L&R 840 点かつ S&W 330 点以上、IELTS 6.5 以上、国連英検 A 級以上のスコア

		<ul style="list-style-type: none"> ・出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・英語を主たる教育言語とする大学の課程を修了した者については、証明書類の提出を免除する。免除希望者は、出身大学(大学院)の教育カリキュラムが英語で実施されている旨を証明する書類を提出すること(学部長等、責任者の署名が必要)。
推薦状 2通	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語または英語。 ・所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。 ・出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。
実務経歴書	該当者のみ	社会人の場合は、実務経歴書を提出すること。書式自由。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

Web 出願システム入力画面の「志望コース、領域等」欄で、「日本語修学」または「英語修学」を選択すること。

(4) 試験日

9月入試	オンライン口述試験	9/15(水)
2月入試	オンライン口述試験	2/16(水)

※実施時刻については、出願書類確認後に個別に調整ご連絡します。

(5) 試験内容

オンライン口述試験	<ul style="list-style-type: none"> ・英語と日本語により行う。ただし、大学を英語教育のみで受けてきた場合のみ英語で対応する。 ・1名30分～程度。個人面接により実施。 ・研究計画書、Essay Writing の内容も確認しながら行う。
-----------	--

長期履修制度について

国際協力学専攻修士課程では、出願期間開始前の申請により、標準修業年限2年間の課程を3年間で修了する制度を設けます。

本制度が適用された場合、学費については以下の通りとなります。

- ・授業料、教育充実費：当該年度における、標準修業年限2年間の課程の年額の 3分の2の額
- ・在籍料：当該年度における、標準修業年限2年間の課程の年額と同額

上記の他、学生教育研究災害傷害保険料(保険期間3年)は入学時に納入、同窓会費(40,000円)は最終年次に納入となります。

対象：国際協力学専攻修士課程志願者のうち、職業を有している者

申請方法：申請書(所定用紙)及び申請資格を証明する書類を入学センターに提出する。

※申請書(所定用紙)は本学 Web ページの「大学院入学試験」の項からダウンロードしてください。

※申請希望者は Web 出願開始日までに申請書類を入学センターに提出してください。